



## IPv6 を介した Telnet アクセス

シスコ ソフトウェアの Telnet クライアントとサーバでは、IPv6 接続がサポートされています。

- [機能情報の確認, 1 ページ](#)
- [IPv6 を介した Telnet アクセスの前提条件, 1 ページ](#)
- [IPv6 を介した Telnet アクセスに関する情報, 2 ページ](#)
- [IPv6 を介した Telnet アクセスをイネーブルにする方法, 2 ページ](#)
- [IPv6 を介した Telnet アクセスの設定例, 4 ページ](#)
- [IPv6 のソース ガードおよびプレフィックス ガードのその他の関連資料, 5 ページ](#)
- [IPv6 を介した Telnet アクセスの機能情報, 6 ページ](#)

### 機能情報の確認

ご使用のソフトウェアリリースでは、このモジュールで説明されるすべての機能がサポートされているとは限りません。最新の警告および機能情報については、『[Bug Search Tool](#)』およびご使用のプラットフォームとソフトウェアリリースに対応したリリースノートを参照してください。このモジュールに記載されている機能の詳細を検索し、各機能がサポートされているリリースのリストを確認する場合は、このモジュールの最後にある機能情報の表を参照してください。

プラットフォームのサポートおよびシスコソフトウェアイメージのサポートに関する情報を検索するには、Cisco Feature Navigator を使用します。Cisco Feature Navigator にアクセスするには、[www.cisco.com/go/cfn](http://www.cisco.com/go/cfn) に移動します。Cisco.com のアカウントは必要ありません。

### IPv6 を介した Telnet アクセスの前提条件

デバイスへの IPv6 を介した Telnet アクセスをイネーブルにするには、vty インターフェイスとパスワードを作成する必要があります。

# IPv6 を介した Telnet アクセスに関する情報

## IPv6 を介した Telnet アクセス

シスコ ソフトウェアの Telnet クライアントとサーバでは、IPv6 接続がサポートされています。IPv6 Telnet クライアントを使用してデバイスへの Telnet セッションを直接確立するか、またはデバイスから IPv6 Telnet 接続を開始できます。IPv6 デバイスへの Telnet アクセスをイネーブルにするには、vty インターフェイスとパスワードを作成する必要があります。

## IPv6 を介した Telnet アクセスをイネーブルにする方法

### IPv6 デバイスへの Telnet アクセスのイネーブル化と Telnet セッションの確立

#### 手順の概要

1. **enable**
2. **configure terminal**
3. **ipv6 host** *name* [*port*] *ipv6-address*
4. **line** [**aux** | **console** | **tty** | **vty**] *line-number* [*ending-line-number*]
5. **password** *password*
6. **login** [**local** | **tacacs**]
7. **ipv6 access-class** *ipv6-access-list-name* [**in** | **out**]
8. **telnet** *host* [*port*] [*keyword*]

#### 手順の詳細

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	<b>enable</b>  例： Device> enable	特権 EXEC モードをイネーブルにします。  • パスワードを入力します（要求された場合）。
ステップ 2	<b>configure terminal</b>  例： Device# configure terminal	グローバル コンフィギュレーション モードを開始します。

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 3	<b>ipv6 host</b> <i>name</i> [ <i>port</i> ] <i>ipv6-address</i>  例 :  Device(config)# ipv6 host cisco-sj 2001:DB8:20:1::12	ホスト名からアドレスへのスタティック マッピングをホスト名キャッシュに定義します。
ステップ 4	<b>line</b> [ <i>aux</i>   <i>console</i>   <i>tty</i>   <i>vty</i> ] <i>line-number</i> [ <i>ending-line-number</i> ]  例 :  Device(config)# line vty 0 4	vty インターフェイスを作成します。
ステップ 5	<b>password</b> <i>password</i>  例 :  Device(config)# password hostword	Telnet をイネーブルにするパスワードを作成します。
ステップ 6	<b>login</b> [ <i>local</i>   <i>tacacs</i> ]  例 :  Device(config)# login tacacs	(任意) ログイン時のパスワードチェックをイネーブルにします。
ステップ 7	<b>ipv6 access-class</b> <i>ipv6-access-list-name</i> [ <i>in</i>   <i>out</i> ]  例 :  Device(config)# ipv6 access-list hostlist	(任意) ラインインターフェイスに IPv6 アクセスリストを追加します。  <ul style="list-style-type: none"> <li>このコマンドを使用して、アクセスリストに一致するセッションへのリモートアクセスを制限します。</li> </ul>
ステップ 8	<b>telnet</b> <i>host</i> [ <i>port</i> ] [ <i>keyword</i> ]  例 :  Device(config)# telnet cisco-sj	ホスト名または IPv6 アドレスを使用して、デバイスからリモートホストへの Telnet セッションを確立します。  <ul style="list-style-type: none"> <li>Telnet セッションは、デバイス名または IPv6 アドレスに対して確立できます。</li> </ul>

# IPv6 を介した Telnet アクセスの設定例

## 例 : IPv6 デバイスへの Telnet アクセスのイネーブル化

次に、Telnet をイネーブルにし、IPv6 デバイスとの間のセッションを開始する例を示します。次の例では、IPv6 アドレスは 2001:DB8:20:1::12、ホスト名は `as cisco-sj` に指定されています。この情報を確認するために、`show host` コマンドが使用されています。

```
Device# configure terminal
Device(config)# ipv6 host cisco-sj 2001:DB8:20:1::12
Device(config)# end
Device# show host
Default domain is not set
Name/address lookup uses static mappings
Codes:UN - unknown, EX - expired, OK - OK, ?? - revalidate
       temp - temporary, perm - permanent
       NA - Not Applicable None - Not defined
Host      Port  Flags  Age  Type  Address(es)
cisco-sj  None (perm, OK)  0  IPv6 2001:DB8:20:1::12
```

デバイスへの Telnet アクセスをイネーブルにするには、`vtty` インターフェイスとパスワードを作成します。

```
Device(config)# line vty 0 4
password lab
login
```

Telnet を使用してデバイスにアクセスするには、パスワードを入力する必要があります。

```
Device# telnet cisco-sj
Trying cisco-sj (2001:DB8:20:1::12)... Open
User Access Verification
Password:
cisco-sj
.
.
.
verification
```

`telnet` コマンドを使用する必要はありません。次の例に示すように、ホスト名またはアドレスを指定するだけで十分です。

```
Device# cisco-sj
または
```

```
Device# 2001:DB8:20:1::12
```

接続先デバイス上の IPv6 接続ユーザ（回線 130）を表示するには、`show users` コマンドを使用します。

```
Device# show users
   Line      User      Host(s)      Idle      Location
*    0 con 0          idle         00:00:00
  130 vty 0          idle         00:00:22   8800:::3
```

表示されるアドレスは、接続元の IPv6 アドレスです。ドメインネームサーバ (DNS) またはローカルのホスト キャッシュで接続元のホスト名が既知の場合は、代わりにホスト名が表示されます。

```
Device# show users
      Line      User      Host(s)      Idle      Location
*    0 con 0
    130 vty 0      idle      idle      00:00:00
                                00:02:47  cisco-sj
```

接続デバイスのユーザが ^6x とのセッションを一時停止して **show sessions** コマンドを入力すると、IPv6 接続が表示されます。

```
Device# show sessions
Conn Host      Address      Byte  Idle Conn Name
*    1 cisco-sj 2001:DB8:20:1::12  0    0  cisco-sj
```

Conn Name フィールドには、宛先のホスト名 (既知の場合だけ) が表示されます。ホスト名が不明な場合、出力は次のようになります。

```
Device# show sessions
Conn Host      Address      Byte  Idle Conn Name
*    1 2001:DB8:20:1::12 2001:DB8:20:1::12  0    0  2001:DB8:20:1::12
```

## IPv6 のソース ガードおよびプレフィックス ガードのその他の関連資料

### 関連資料

関連項目	マニュアルタイトル
IPv6 のアドレッシングと接続	『 <a href="#">IPv6 Configuration Guide</a> 』
IPv4 アドレス指定	『 <a href="#">IP Addressing: IPv4 Addressing Configuration Guide</a> 』
Cisco IOS コマンド	『 <a href="#">Cisco IOS Master Command List, All Releases</a> 』
IPv6 コマンド	『 <a href="#">Cisco IOS IPv6 Command Reference</a> 』
Cisco IOS IPv6 機能	『 <a href="#">Cisco IOS IPv6 Feature Mapping</a> 』

## 標準および RFC

標準/RFC	タイトル
IPv6 に関する RFC	『IPv6 RFCs』

## シスコのテクニカル サポート

説明	リンク
シスコのサポートおよびドキュメンテーション Web サイトでは、ダウンロード可能なマニュアル、ソフトウェア、ツールなどのオンラインリソースを提供しています。これらのリソースは、ソフトウェアをインストールして設定したり、シスコの製品やテクノロジーに関する技術的問題を解決したりするために使用してください。この Web サイト上のツールにアクセスする際は、Cisco.com のログイン ID およびパスワードが必要です。	<a href="http://www.cisco.com/cisco/web/support/index.html">http://www.cisco.com/cisco/web/support/index.html</a>

## IPv6 を介した Telnet アクセスの機能情報

次の表に、このモジュールで説明した機能に関するリリース情報を示します。この表は、ソフトウェア リリース トレーンで各機能のサポートが導入されたときのソフトウェア リリースだけを示しています。その機能は、特に断りがない限り、それ以降の一連のソフトウェア リリースでもサポートされます。

プラットフォームのサポートおよびシスコソフトウェアイメージのサポートに関する情報を検索するには、Cisco Feature Navigator を使用します。Cisco Feature Navigator にアクセスするには、[www.cisco.com/go/cfn](http://www.cisco.com/go/cfn) に移動します。Cisco.com のアカウントは必要ありません。

表 1: IPv6 を介した Telnet アクセスの機能情報

機能名	リリース	機能情報
IPv6 を介した Telnet アクセス	12.2(2)T 12.2(18)SXE 12.2(25)SEA 12.2(25)SG 12.2(33)SRA 15.0(2)SG Cisco IOS XE Release 2.1 Cisco IOS XE Release 3.2SG	IPv6 を介した Telnet アクセスがサポートされています。  <b>ipv6 access-class</b> 、 <b>ipv6 host</b> の各コマンドが導入または変更されました。

